

# がん治療を支える口腔ケア

## 第一弾 口内炎(口腔粘膜炎)



# はじめに

がん治療では、さまざまな症状がお口の中にあらわれ、がん治療そのものをさまたげることがあります。

また、食事ができなくなったり、歯磨きができなくて症状が悪化することもあります。

そのため、口腔内にも目を向け適切な対応を行っていきましょう。

# 抗がん剤治療による副作用

- お口の中の乾燥
- 口内炎(口腔粘膜炎)
- 味覚の変化
- 舌の痛み
- 歯や歯ぐきの痛み
- お口の中の感染

今回は、口内炎の対処法についてお伝えします

# 口内炎(口腔粘膜炎)



- 抗がん剤を投与してから、4～5日でお口の中に変化が現れます。

その後、10～14日で症状のピークをむかえます。

- 口内炎(口腔粘膜炎)による痛みは、塗り薬や、うがい薬を使うことで、和らげることができます。

# 症状を和らげる方法

- お口の乾燥により，口内炎(口腔粘膜炎)の症状が悪化するため，十分な保湿を行いましょう

## 粘膜保護剤・保湿剤

### ジェル&軟膏タイプ



☆ジェルや軟膏タイプは、保湿力は高いです。たくさん塗るのではなく、少しの量を数回にわけて塗ると効果的です。

### スプレータイプ



☆バトラージェルスプレーは、手軽にスプレーできるので簡単に使えます。

# 痛み止めの入ったうがい薬

## うがい薬

キシロカイン+アズノール嗽液+保湿剤



## 塗り薬

キシロカインゼリー+アズノール軟膏  
混ぜて使用します



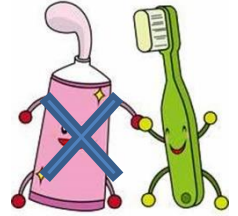
こちらのうがい薬と塗り薬は、病院からの処方になりますので、主治医もしくは、歯科を受診ください。

その他、軟らかい歯ブラシや小さめの歯ブラシを使うと良いでしょう。



また、歯磨き粉がしみる場合は使用しなくても大丈夫です。

氷などを口に含むと痛みを和らげる場合があります。



症状や対処法について、また痛みでお口の清掃ができない場合など、お気軽に歯科口腔外科にご相談ください。

しっかり食事ができるように支援させていただきます。

